

平成30年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:その他の地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
(県南地方振興局)											
1	新規	観光振興	夢をHugくむ街、しらかわ	白河商工会議所青年部	ソフト	4,932	2,558	<p>地域の賑わい創出と交流人口の拡大を図るため、県南地方の地域資源を活かし、白河市内外の子どもからお年寄りまで、多様な世代が参加、交流するイベントを開催した。</p> <p>また、小中高生による街のシンボルづくりを行い、白河駅前イルミネーションに合わせて展示することで、子どもの目を通した白河市の魅力をPRした。</p> <p>○夏祭り2018-しらかわスマイル-@白河駅前イベント広場(8/4、5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による伝統・文化芸術等の発表 ・県南地方の食のPR ・県南地方の歴史・伝統・文化・芸術・自然等の体験ブース ・僕らの課外授業シンボル制作ワークショップ ・来場者:約2万人 <p>○僕らの課外授業～創ろう!僕らの街のシンボルを～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県南地方の小中高生による企画会議(7/24) ・シンボル制作(66人参加)(8/19) ・シンボル発表・展示(11/30～1/31) <p>※白河駅前イルミネーションと同時開催</p>	H30.5.24～ H31.2.20	白河市	
2	新規	産業振興	しらかわにぎわいプロジェクト	しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会	ソフト	608	392	<p>独立店舗では起業が困難な人(起業家)に対し、セミナーや四季ごとに開催されるイベントに併せたチャレンジショップの開設などを通じて創業支援を行い、中心市街地の空き店舗での独立開業促進と、街なかの賑わい創出を図った。</p> <p>○チャレンジショップを組み合わせたイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:6/3、8/4、12/1～25、2/11 ・出展者:のべ84店舗 ・来場者:3,947人 <p>○創業支援のための勉強会やセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:6/1、8/1、2/15 ・参加者:44人 <p>○空き店舗を巡るツアー(10/16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者:4名 ・9店舗見学 <p>○SNS(LINE@)を通じた起業情報の発信</p>	H30.4.3～ H31.3.15	白河市	
3	新規	人材育成	しらかわ企業ミーティング	しらかわ企業ミーティング実行委員会	ソフト	1,886	1,046	<p>就職希望の高校生のみならず、進学予定の高校生も対象とした企業説明会を開催することで、就職後のミスマッチの解消、進学前における地元企業の理解促進、Uターン就職者の増加及び人口減少の抑制を図った。</p> <p>○進学校を含む県南地方の高校生を対象とした企業説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:平成31年2月22日(金)9:30～16:30 ・場所:棚倉町総合体育館 ・参加生徒数:県南地方の高校5校 412人 ・参加企業数:67社 	H31.1.23～ H31.3.29	白河市	

平成30年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:その他の地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
4	新規	観光振興	白河戊辰戦争150年を契機とした歴史のまち魅力発信事業	白河戊辰150周年記念事業実行委員会	ソフト	16,266	4,886	<p>戊辰戦争から150年という節目の年に、白河の歴史を再認識し、観光資源を磨き上げるため、県内外の戊辰戦争ゆかりの地と連携したイベントやツアー、講演会を実施することで、白河市の魅力を広くPRし、更なる交流人口の増加を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戊辰の風花の雲@小峰城城山公園(4/7) <ul style="list-style-type: none"> ・RAG FAIRによる復興応援ソング「花は咲く」の合唱 ・プロジェクションマッピングに合わせて実施 ・来場者:5,000人 ○歴史再発見バスツアー@白河市、南会津地方(8/6) <ul style="list-style-type: none"> ・参加者:白河市内中学生5名 ○白河戊辰ラーメン合戦@小峰城城山公園(10/26~28) <ul style="list-style-type: none"> ・出店数:8店舗(東西に分かれ、杯数を競った) ・来場者:50,000人(東軍7,595杯/西軍6,730杯/計14,325杯) ○まだまだ知られていない戊辰戦争講話会(全5回) <ul style="list-style-type: none"> ・日時:8/4、9/8、10/13、11/10、12/8 ・場所:マイタウン白河、脇本陣柳屋 ・内容:県北、南会津、白河などでの戊辰戦争に関する講話 ・参加者:のべ125人 	H30.4.3~ H31.1.31	白河市	
5	継続2	交流・定住	風評払拭!ふくしまで農活	表郷いいもの開発協議会	ソフト	501	280	<p>「農活」と題して首都圏からメンバーを募り、農業講座(座学)で本県の現状や作物の作り方等を指導するとともに、白河市表郷地区を訪れ植付けから収穫まで農作業を体験してもらった。</p> <p>さらに、収穫した農産物をメンバーが自ら首都圏で販売することで、風評払拭と安全性をPRした。</p> <p>平成30年度は、東京でのマルシェの回数を増やし、ふくしまの現状発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野菜収穫・交流会@白河(6/23) 参加者11人 ○野菜販売マルシェ@東京(7/6、7) 客数124人 ○稲刈り・野菜収穫・交流会@白河(10/14) 参加者11人 ○野菜販売マルシェ@東京(12/7・8) 客数86人 ○開校式(意見交換)@東京(2/12) 参加者8人 	H30.4.30~ H31.3.10	白河市	復興関連事業
6	継続2	産業振興	白河ふれあいマーケット	公益社団法人白河観光物産協会	ソフト	1,561	810	<p>白河駅前イベント広場において、しらかわ(県南)地方で収穫された野菜、果物、地場産品等を扱う生産者などによる朝市「白河ふれあいマーケット」を開催し、生産者と地域住民の交流、地産地消の推進、中心市街地活性化を図った。</p> <p>平成30年度は、出店者(生産者)交流会を実施し、コラボ商品の開発・販売や将来的な事業の存続について意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○白河ふれあいマーケット@白河駅前イベント広場 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:6/24、7/31、8/19、9/16、10/14 ・出店者:19~24店舗/回 ・来場者:800~1,000人/回 ・県南地方の生産者等による青果物・加工品・苗木・切り花・手芸品・古着・特産品・飲食等の販売 ・しらかわ地方で活動する団体によるステージイベントの開催 	H30.5.14~ H31.1.31	白河市	

平成30年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:その他の地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
7	継続 2	観光振興	まるごと白河2018	まるごと白河実行委員会	ソフト	6,900	2,636	<p>しらかわ(県南)地方の交流人口拡大及び観光誘客を図るため、白河ラーメンや白河蕎麦といった伝統的食文化を始めとする白河市内の食や伝統文化等が一堂に会するイベント「まるごと白河2018」を10月に開催した。会場では、しらかわ地方のご当地キャラや特産品等を集め、しらかわ地方全体をPRした。</p> <p>また、白河市の主要な観光地である小峰城、南湖公園、白河関跡のみならず、隠れた観光資源の魅力発信事業を展開した。</p> <p>平成30年度は、SNS公式アカウントを開設し、情報発信を行った。</p> <p>○まるごと白河2018@白河駅前イベント広場ほか(10/28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージイベントの実施 ・白河市内を中心とした飲食の提供 ・ラーメン・そば等の提供による地元の食のPR ・ゲストシェフによる白河ブランドの魅力発信 ・地元企業や団体によるPR、体験コーナー <p>○SNSを活用した魅力発信(8/1~2/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・twitter専用アカウントの開設、情報発信 	H30.6.1~ H31.2.22	白河市	
8	継続 2	観光振興	しらかわ地域文化継承事業	白河まつり振興会	ソフト	2,891	1,417	<p>昭和30年代から踊り継がれ、震災を機に復活を遂げた「白河関の踊り流し」に、市内の企業や団体、住民、学生等の幅広い層に参加を呼びかけ、練習会を行い、8月の関まつりで披露することで、地域コミュニティにおける絆づくり及び地域住民同士の交流を行った。</p> <p>また、関まつり当日には、地元商店街組織や地域の特産品等を扱う事業所の出店スペースを設け、地域の特産品をPRするとともに、中心市街地の活性化を図った。</p> <p>平成30年度は、戊辰戦争150周年記念事業として、戊辰戦争時に山口県萩市に伝わった「白河踊り」も披露した。</p> <p>○白河関まつり@小峰通り(8/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白河関の踊り流し 約1,200人参加 ・地域の特産品販売「元気夕市」の開催 ・白河踊りの披露 	H30.6.1~ H30.10.31	白河市	
9	継続 2	その他	ご当地アイドルによる県南地域活性化事業	矢吹町バンド連合会	ソフト	1,986	943	<p>県南地方のご当地アイドルを始め、県内外各地のご当地アイドルによる地域の魅力を発信するイベントの開催、SNS等による情報発信、昨年作成した通信紙の配布を通して県南地方を県内外へ広くPRするとともに、ご当地アイドルメンバーの目を通した本県の状況を伝えることで、震災による風評の払拭を図った。</p> <p>平成30年度は、クラウドファンディングを活用したイベントの開催等、補助終了後の自活に向けた取組を行った。</p> <p>○地域イベントの開催(計5回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しゅんらん春まつり(4/22) ・Locodle Sonic!!(7/1、1/20、2/24) ・東北フレンドパーク(クラウドファンディング活用)(9/17) <p>○県外での情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での情報発信 計6日 ・他被災地との連携 計2日 	H30.4.3~ H31.3.10	矢吹町	復興関連事業

平成30年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:その他の地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
10	継続 3	情報 発信	次世代によるローカルメディア 創造事業	次世代によるローカル メディア創造事業 実行委員会	ソフト	1,578	969	震災から7年目を迎える県南地方の現状を県内外に広く発信し、震災による風評の払拭及び震災の記憶の風化を防ぐとともに、将来的に継続して本県の情報を対外に発信し続ける人材の育成を目的に、県南地方の高校生有志(裏庭編集部)がローカルジャーナリストとしてのスキルを実践的に学んだ。 メディア関係者を講師に、情報発信について学ぶとともに、高校生の目を通した県南地方の今を紙媒体とウェブ媒体で全国に発信した。 平成30年度は、滋賀県立彦根東高校新聞部と、白河市や双葉郡の取材を通じて交流するとともに、情報発信力の向上を図った。 ○裏庭編集部ミーティング・取材(7~3月)のべ27回 ○県内TV局取材(7~8月)のべ5回 ○ファンリレーション講座(8/15) ○アイデア出し講座(10/13) ○彦根東高校との交流(10、12月) ○フリーペーパー「ヨリミチ」vol.2、3発行	H30.7.3~ H31.3.10	白河市	復興関連事業
11	継続 3	情報 発信	ふくしまの「人と地域」の魅力発信 事業	特定非営利活動法人 表郷ボランティア ネットワーク	ソフト	1,576	1,017	県南地方の魅力の再発見、交流人口拡大及び若年層の移住・定住促進を目的に、路線バス専用道路「白棚線」等の地域の宝(地域資源)を活用したPRを実施した。また、事業参加者と地域住民の交流の場を設けることにより、地域の活性化を図った。 平成30年度は、情報誌の発行を4回に増やし、情報発信を強化した。 ○カレンダープロジェクト(6~12月) ・参加対象:地元住民、地元中高生、首都圏の写真愛好家団体等 ・地域の宝(名所、特産品、イベントの様子等)を紹介 ・県内外のイベントやアンテナショップ等で配布 ○地域交流事業 ・かかしまつり(撮影会、講演会、交流会)の開催(9/23、24) ・白棚線沿線写真展@白河市2箇所、棚倉町1箇所 ○白棚線沿線情報紙の発行 ・「はくほ」の発行(夏7月、秋9月、冬12月、春3月)	H30.4.15~ H31.3.20	白河市	
12	継続 3	人材 育成	街なかカルチャー教室 未来の 担い手育成事業	街なかカルチャー教室 実行委員会	ソフト	881	485	県南地方の交流人口拡大を目的に、夏休み期間中に県南地方、栃木県及び茨城県等の住民を対象としたカルチャー教室を開催した。 また、カルチャー教室の企画・実施希望者を募集し、カルチャー教室実施までのサポートを行うことにより、将来の地域づくりの担い手育成を図った。 平成30年度は、開催期間を増やすとともに、フォトコンテストと連動した講座を開設するなど、内容の充実度を高めた。 ○開催期間 〈春〉5~6月、〈夏〉7~9月、〈秋〉10~12月、〈冬〉1~3月 ○講座数 〈春〉21〈夏〉28、〈秋〉28、〈冬〉23 合計100講座 ○参加者 〈春〉116、〈夏〉152人、〈秋〉158人、〈冬〉135人 合計561人 ○フォトコンテスト 〈春〉58、〈夏〉40、〈秋〉20、〈冬〉21 合計139作品	H30.4.10~ H31.3.10	白河市	

平成30年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(一般枠:その他の地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
13	継続 3	交流・定住	農商工連携事業「しらかわ応援団プロジェクト」	夢みなみ農業協同組合青年連盟しらかわ地区	ソフト	2,797	1,537	白河商工会議所青年部と連携し、首都圏在住者を対象に白河市内で田植えや野菜の収穫といった農作業を体験し、生産者と交流することで、県産農産物の安全・安心をPRし、風評の払拭を図った。 平成30年度は戊辰戦争150周年を記念した田んぼアートを制作した。 ○田んぼアート(6～9月) ○田植え体験(5/27) 参加者15人 ○野菜収穫体験、白河市内散策(7/28、29) 参加者13人 ○酒仕込み体験(11/25) 参加者24人 ○新酒お披露目会(3/4) 参加者26人	H30.4.3～ H31.3.20	白河市	復興関連事業
14	継続 3	交流・定住	全国から「しらかわ」に集まれ！元気なジュニアゴルファー育成プロジェクト	全日本小学生ゴルフトーナメント in しらかわ実行委員会	ソフト	14,382	7,000	全国からゴルフが大好きな小学生を「しらかわ(県南地方)」に集め大会を開催した。しらかわ地域と本県における風評の払拭及び地域の活性化を図るとともに、LPGA(日本女子プロゴルフ協会)との協力により、健全なジュニアゴルファーの育成を目指した。 ○第13回全日本小学生ゴルフトーナメント in しらかわ ・日時:平成30年10月6日(土)～7日(日) ・場所:矢吹町 矢吹ゴルフ倶楽部 ・参加人数:94人	H30.6.1～ H30.12.28	矢吹町	復興関連事業
15	継続 3	交流・定住	うつくしま絆づくりプログラム	うつくしま絆づくりプログラム実行委員会	ソフト	1,931	929	東日本大震災による県南地方への避難者の不安とストレスの緩和及び地域住民との交流促進を目的に、伝統文化をテーマとするアートスクールを開催した。 平成30年度は、県産農産物の払拭を目的に、首都圏の親子を対象とした体験ツアーを開催し、本県の魅力と県産農産物の安全性をPRした。 ○アートスクール(6月～3月) ・参加者:地域住民、避難者など のべ398人 ・教室:漆芸、陶芸、野焼き、子ども絵画ワークショップ 計34回 ・作品展:来場者数405名 ○おいしい矢吹まるごと体験親子で楽しむバスツアー(9/2) ・参加者:首都圏在住の親子 21人 ・内容:野菜収穫体験、放射性物質検査見学、町内展覧会見学 ○地元産農産物と芸術を楽しむ会(12/8) ・参加者:地域住民等 52人	H30.4.6～ H31.3.3	矢吹町	復興関連事業
累計						60,676	26,905				